京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二銭▲一ヶ月前金貳拾五銭▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三銭

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十銭▲雑報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五銭

發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久紳一郎
京城西小門通(電話二八六(三))

發行所 京城新報社

●金銭貸付業法改正

今回本邦税制整理案に於ては金銭貸付業者の營業税課税標準を貸付資本金額にして貸付業者の使用する家屋倉庫の如き固定資本は除外の位置にありて貸付に直接の關係なきものなれば之れを資本金額に算入するは不合理なりとの理由の下に從來の課税標準額中に算入せし家屋倉庫の如き固定資本を除き運轉資本に限り課税することゝせり其税率左の如し

金銭貸付業

課税標準	現行税率	改正税率
資本金額	千分の五	運轉資本金額 千分の六五
建物賃貸價格	千分の百	千分の七十
從業者	一人毎に一圓	一人毎に二圓五十銭

十五歳未滿の從業者の税金は半額とし家族と雖も營業に從事する者に對しては課税す

●三井物産黒鉛輸出

韓國に於ける黒鉛は實に無盡藏の觀あるに昨年まで殆んど採掘に着手するものなくこの富源をして徒らに放棄しつゝありしが昨年春に至り元山、釜山、附近に於て漸く採掘に從事し海外輸出を企てたるも其の規模の小なるため大なる黒鉛礦を有しながら採掘量至つて尠少にして輸出品と云ふ名はかりなりしが其の後各方面に於て礦區を發し盛んに採掘に從事するに至りたるを以て昨秋に至りては輸出量も日々増加し韓國特産の物資として大に注目を惹ふに至りたり殊に平壤附近より採掘さるゝ黒鉛は最も品質佳良にして全韓を通じて他に比類なきも只惜むらくは礦區の小にして永續的事業として目されざるを遺憾とす、然れども近々礦區の發見を見る模様なれば或は將來最も有望の地となるやも知れずと玆に於て三井物産京城出張所に於ては今回黒鉛の海外輸出を開始し同時に韓國黒鉛を一手に引受けて大に斯業の奬勵となす由なり

●洛東江附近の物貨

集散貨物の數量釜山港と洛東江口附近及其稍上流に位せる下端、鳴湖、[illegible]、金海、三浪津の各地間とに集散する貨物數量は釜山税關に於ける沿岸貨物統計の外殆ど他に正確なる統計の徴すべきものなきを以て其實數を知ること甚だ困難なれども釜山商業會議所に於て貿易に就き調査したる結果に依れば其數量は最近一箇年移出入合計大凡米穀及雜貨十五萬個以上石炭千六百餘噸にして其價額約七十萬圓を下らざるの多額にして其移入貨物は米、大豆、大麥等其大部分を占め又移出貨物にありては食鹽、[illegible]、木材、石油及石炭等最も多數を占むと云ふ

地方通信

▲平壤通信(十三日)

▲水道給水と燃料 平壤水道工事は續羅島給水ポンプ三箇所に於ける連結パイプの取付を終了せば完成し直ちに給水の試驗に取掛る由なるが該ポンプ用パイプは目下中修車場へ到着せるも昨今の暖氣にて大同江氷上運搬危險なる爲め取寄を見合せつゝありと又同機關の燃料は撫順炭に對し平壤炭一を混入し使用する筈にて該石炭は已に綾羅島に蓄せりと

▲水道事務の今後 約三箇年間の豫定なる平壤水道工事も豫定計畫の如く本年三月を期し悉皆完了すべき筈にて自然總ての事務上縮少を爲すべき時期となり已に昨年末より本年にかけて各職員の解傭ありたるが右の結果として會計上の費目に關しては特に六月頃までの見越を爲し本年一月より從來とは異なり餘後の經常、臨時の費目に復し而して近き將來に現任の兩角所長は他に榮轉し當局變更せられ其の改正の結果は事務官の所長以下技手二名主事二名雇員四名位にて引續き事務を處理する事となるべしといふ

▲開始期と給水料 別項記載の如く平壤水道工事は近く完了を告げ市内への給水は來る三月上旬頃より開始さるゝ豫定なるも蒸氣汽罐及其鐵管の取附に際して試運轉に際し多少の故障あらば或は三月下旬となるべく而して本年度市内に於ける給水料は約一萬五千圓の豫計なるも昨今の現状にては或は一万圓以内位に止まらんも知るからず尤も此の給水料は已に給水を願出でし專用者二百五六十戸と外に給水販賣者を包みての事なりと

▲運炭用鐵索架設 平壤鑛業所坑區なる高坊山より美林洞に至る石炭運搬用の鐵索架設工事は昨今結氷の時期なるにも拘はらず昨年より引續き工事を進行せしめつゝあるが今春の結氷期までには全部竣工せしむる計畫なりと

文苑

過ぎた元日(上)

龍山 僑寛

大吉は元日の朝起ると、例年の通りに屠蘇と雜煮を祝ひやつた。大吉は大酒呑みの癖に、餅をも頗る澤山いける胃腸と云ふ男である。彼は屠蘇で眼の周圍をボツと紅く染めて、餅で腹をビールの看板のやうに太らして、薄暗いオンドルの汚ない机、兇れて考へた。毎年同じやうな活版僧の名刺を持ち廻るのは、どうしても陳腐であると思つた。で彼は態々年内に印刷させてあつた名刺を止めにして、更に本箱の抽斗から別な畫紙を机の上へ出して、苦慮かこうかと再び思案した。

大吉は暫くして『鷄鳴 曉を報じて四海鼓に新なり、瑞氣滿々たる貴下の門前に伺候し、正を賀するは生の最も光榮とする處に御座候』と書いて見た。

大吉は、まだ頭をかたげた。けれ共大吉の頭からは、最も之れ以上には何にものも出なかつた。で、彼は其通りに三十枚斗りも書いたと思ふと、『れ目出度、々々々』と、型の様な文句が引切れなしに出たり這入たりするので、大吉は最う沈着いて書いてることが出來なくなつた。で、彼は慌てゝ自宅を飛び出して、あらゆる友人知人の家を廻りかけた。けれども大吉はこの日に限つて、れ目出度いを爪の垢ほども用ひなかつた。

大吉自身は、少しもれ目出度いと思つて居なかつたのであらう。この寒い朝ぱら而も此の通路の惡いのに、走り廻らねばならんと思ふ浮世の義務が、非常に不目出度い元日だと思つて、トウ／＼癪に障つて仕舞つた。

中腹になつた大吉は、聽がて日暮方までも廻つた。が何處に行つても、何時になつても、決してれ目出度を言はずに、れ早うで打通して仕舞つた。

大吉は一番最後に、一番懇意な友達の家に行つても、矢張り『君、れ早う』と操返した。最う日も暮れやうと云ふ時分に出て來て、れ早うと言はれた下田は、苦笑しながら

『今時分でもれ早うか』

『ウンれ早うだ』

『れ早うちやないれ目出度うだらう』

『インヤ、れ早うだ』

『ナゼ』と下田は問返した。

『今朝早く出かけたから、れ早うちやないか』

『マア呑め、屁理窟を言はんで』

大吉は、マア呑めと出された盃を受けて、其中の繪が『壽』と書いた赤い小さな盃を喰へて居る模様を、ジツと見詰めながら、グツと一息に呑んで、『何んだ詰らない』と云つて返盃した

日本銘刀傳

第十九席 邑井一 講演

正『鍛の親方は、功者には違ひないが、只刀を切れると許り、上總を入れるから、刀に殺氣を含んで居て、其の刀を差す人が、必ず心が荒くなり、己の身を破り、人を害すことが出來る、身體を出屈て字を書けば、必ず曲つた字が出來る、心地の勝れぬ時には、鍛師が鎚を取らぬと云ふから、自分の心から改良めねば、幾百振の刀を鍛冶ども、唯汚名を千載の末に殘し、隨つて師匠の名前まで汚さんければならぬ、昨夕鍛冶たる刀は、物打違りを、素人が云ふ燒鈍、商業人が嫌らうケスパリと云ふ缺點が出來て肝腎な場合に到れば、必らず折れる、今後能く心を改めて、武士の魂となるべき不順の順たる刀鍛冶の本分を守れと、六十許りの坊主と三十年餘りの男が、關東訛りで言つてたと、問はず語りに話して遣つて下さいまし 亭『ハイ御深切様で……、明朝はれ早く……ヘイ明神へ御參詣で……れ床を延させます、御休息なさいまし』

一借て翌朝未明に起きて、正宗貞宗兩人が遊致して、多士明神へ參詣に赴きました、龜屋の亭主は俗に生利と云ふ性質で、聞いたことを直ぐに自分が知つたか振りをすると云ふ、御客を立たせた後で、隣の喜左衛門の宅へ 亭『れ早う』 喜『大層早いね、御亭主……何か御用か 亭『用ちやアねヘが、喜左衛門さんれ前昨夕刀を鍛冶たね 喜『分つたかね 亭『分つたかとは失禮な、素人が聞けば、テンカンと聞こねるが、俺共が聞くと、種々に音がする、十二陰陽、二十五音と云ふやうな譯で 喜『是れは恐入つた何うして知つて居るね 亭『俺も刀鍛冶の飯を食て居たこともある者だ 喜『さうだらう、素人では其様ことは知らぬ筈だ 亭『けれども喜左衛門さん、上總の入れやうが惡い、あれちやア物の役に立つ刀が立たなくなる、鍛師が獸を入れるやうな處で、自分の精神を寫すのだから、切れろ／＼と鍛冶揚げると、れ前さんの鍛冶た刀を持人が、身を果すやうなことになるから、餘程氣を改めないと、折角の場合へ往つて刀の折れる事がある、さうすればれ前の名前ではなく、師匠の名前を汚さねばならない、昨夕拵へた刀には殺氣が含んで居る、ケパスリがある……マア喜左衛門さん御立腹では困るよ……、れ前の爲めだから言つて置くのだ』熟と村正は考へて居りましたが、弟子に分付けまして昨日夕景に鍛つた刀を取り寄せて、熟と此の刀の様子を見詰めて居りましたが、何思ひけん柄の所を手拭にてグル／＼と捲付けまして、やがて老爺の傍に進んで參つた、老爺は非常に驚きました 老爺『オヤ／＼ナ、何をするんだ』村『ヤイ老爺、先刻から聞いて居りやア、奴は此の村政の刀に怪知を付けに來やがつたな、現在鍛を入れた俺ですら、荒砥に掛けぬ其内に、ケスパリ疵があるか無いか、分るものではない、夫れを襖を隔つた汝が、家に居て音を聞いた位で分る、[illegible]ことを吐す奴、何を詰らねことを申す、其のやうな事が分つて堪るか、愈々ケスパリ疵か出たか出ぬか、汝の生首を斬つて試して遣るから然う思へ』と一刀を振被つた、老爺はバツタリ其の處に腰を拔かして終つた 老『アツ待つた、其様手荒い事をされちやア堪らない、實ア俺ちやない、他に言つた人がある、俺は其の受賣りだ、本家本元と云ふのかあるのだ、夫れは此の通りだ』と懷中から例の書附を取出して示しました、見ると十二陰陽廿五音のことなど、一々夫れに認してございます 村『ヤイ人を馬鹿に仕やがつて、迚も汝に其様な事の分る筈がないと思つたんだ、汝は全體誰から其様なことを聞いて來やアがつた』老『實はれ前さん怒りなさるが昨日夕景に俺の家に諸國行脚の旅僧がと一人の若者が泊つたんだ』喜『ウム夫れから何うした』



京城新報

滿洲劇の開幕(五)

韓半島に及ぼす影響

日露戦役は有史以來の大戦争であつた、而して此大戦争は露國の方から云へば言ふ迄もなく必要なる南下の目的を達せんとし我國から云へば自衛の目的を達せんとして起つたのである、此戦争の特殊の點は先づ第一が黄人對白人なる事、第二が戦場となつた滿洲が兩交戦國の領土に非ざりし事、第三が日露共に軍資を外債に仰いだことである、古來節記第一第二の例は乏いでもないが兩交戦國が各自外國から借金して其軍資に充て彼の如き大戦争を二ケ年に亙つて継續した例は有史以來全く未曾有であるのである最後に於て我は奉天を占領した、露軍はハルビンに立て籠つた、此時に於て仲裁が米國から提議された、本當を云へば兩交戦國に各名誉の為に米國の仲裁を聞くべきであつた、而るに戦争は未だ最後の勝敗に達せぬ前に意外にも兩交戦國はルーズベルトの仲裁を納れた、我國民は挙つて時の内閣の所為に反對した、而して其極端なる暴は日比谷騒動まで起した、露人の方は如何と云ふに之又時の政府が米國の仲裁提議に服したのを不満足に思つた、國民閥士は實際仲裁に不服であつたが兩國政府は米國の提議を納れべき餘儀なき狀態にあつた、何となれば日露兩國共にあの以上戦争を継續するとすれば何多額の軍資を要し而して其軍資は今はや外債に因て容易に作れる見込が無かつたのである、日露戦役の終局はザット斯様である、ハルビンを睨んだゞけで仕舞つた、我戦勝の結果があまり芳ばしからざりしも蓋し當然であるのである。

世界に支那ほど厄介な國は無いとは列國人の常に口癖に云ふところである、成程自國の防衛が自國で出來ず、稍もすれば野心ある列國をして清土分割の夢を見せしむる支那は實に厄介な國に相違ないのである、若しも清國にして滿洲の防衛が完全に出來て居たなら露人も初から南下の野心を起さなかつたのである、ある場合に於ては我日本も何の必要あつて露人相手の戦争をしよう、返す返すも残念なるは清國防衛力の不足にして之あるが為に所謂東洋の平和が確保されずに居るのである、而れども翻つて吾人が支那人となつて考ふれば如何、列國の言辭は中華の為實に非同情であるのである、清國の兵備の足らざるは事實である、併し兵備が足らざるとして何も列國が中華の領土を窺覦するには及ばないのである、遠爽、今や列國は其經濟區域擴張の為め領土の擴張を競ひつゝあるのである、支那分割論が何に因つて起るか位は支那人も良く知つて居るのである、知つて居るが故、常に分割論の防ぎに骨を折りつゝあるのである、只彼れは不足なる陸海軍の力を以て列國に當ることは出來ぬ、因つて卑怯な様だが一種の外交術を揮つて自家の目的を達せんと試みつゝあるのである、全滿鐵中立は清人の發明である、是を以て清人は自國領土の分割を免れんとするのである、米國をして此中立論を列國に提議せしめたるは清國外交の大成功大勝利であるのである、思へば霞ケ關が總理衙門に及ばざること甚矣で昨年中ワシントンに於て我が高平が伍廷芳に負けたる相撲は眼前に見ゆるが如く内田康哉代て土俵に上る共異党何の勝星を得んやである。

東京電報

▲**外債借替の有望** 近來我在外公債の價格日に昇騰を重ね最近倫敦市場に於て百磅と云ふ高値を呈するに至りたるは水町財務官當歐以來我財政の説明に努めたる結果に由て同氏は高くも手取三朱五厘にて外債の借替を成効せしむべき確信を有せりとのことなれば近く福音を傳ふるに至るべしと(十四日)

▲**首相と外相密議** 桂首相及小村外相は本日外交上の重要問題に關し密議する所ありたりと

▲**都督辭任の理由** 既電關東都督大島大將は數年來の宿志たる滿州に於ける本邦政務の統一機關地方の組織的發展に關し清露兩國に對する我態度に關し意見書を政府に提出し數回の交渉を重ねたるが意見の貫徹見込みなきより辭表を小村外相迄提出し小田原の別邸に赴けり

▲**皇后陛下行啓中止** 皇后陛下には本日御避寒の為め沼津に行啓あらせらるべく御豫定なりしが降雪の為め御中止相成りたり(十五日)

▲**石塚氏の罷免乎** 統監府の改造に付き確聞する處によれば統監府の現時の總務長官制を韓國統治に適應せる一種の民政長官制に改め統監の顧問を兼ねしめ其他行政各部に亙り大改革を斷行すべき筈にて改革の劈頭に於て石塚總務長官事務取扱は罷らるべく後任には現參與官中の某氏任命せらるべし(同上)

▲**米提議と貴族院** 米國の滿鐵中立提議に對し貴族院は政府をして強硬の態度を採らしむべく運動中なり(同上)

▲**都督辭表の聽許** 大島關東都督の辭表は聽許せらるべし後任は未だ決定せず(十五日)

▲**韓儲小田原行啓** 奏上中なりし韓太子の小田原御避寒は勅許ありたるを以て來る廿二日高宮太夫以下を随へ小田原へ行啓せらる

奉天電報

▲**撫順炭坑の爆發** 昨十三日撫順炭坑の東郷坑爆發し即死十七名重傷者十四名に達し其他輕症無數にして頗ぶる慘狀を極む(十四日發)

北京電報

▲**北滿洲の防穀令** 吉林黑龍巡撫は支那人の常食たる高粱粟に防穀令の内訓を發せり(十五日)

歐州電報

▲**南阿總督の決定** 倫敦通信によれば本年より實施せらるべき南阿聯合第一回總督はグラッドストーン翁の第四子現内務卿グラッドストーン氏任ぜられたり(十五日着)

▲**普國の歳入不足** 普國の財政は四百萬磅の歳入不足を生じ公債を發行するに至るべしと(同上)

▲**米國提議の不評** 滿洲鐵道中立に關する米國の提議は初め歐米にて多少の賛成を受けしが目今にては一般に實行不可能のものと思考せられ冷評を以て迎へられり(同)

雜報

國境と海關貿易

國境貿易と海關貿易の差異に就ては目下韓清兩國の間に起りつゝある間島の稅關問題に對して大に講求を要すべき點なるが今之れを理論上より云へば海關貿易とは一定の場所を限りて物資の輸出入を爲すべきものにて國境貿易は一定の開市場を設けず邊境の國民が貨物を擔ぎ又は買入るゝに過ぎず故に清國側に於ては普通の海港場に來る貨物と國境通過の貨物とは同一の稅金を賦課すること能はず是れを以て清國政府が普通の稅金を間島の稅關に於て輸出入貨物に賦課することは穏當ならざるものと認定せざるべからず依て間島の稅關が韓國より輸入する貨物に對して開港場に輸入する外國貨物と同一の關稅を附加せんとする時は曩に締結したる韓清通商條約第十二條の規定に依りて更に協定を經たる上にあらざれば不可なり故に該協定の終了までは別項記載の如くアンダープロテスト即ち抗議の下に稅金を支拂ふものにて詳言すれば條件附にて稅金を支拂ひ置きたる上にて後日協定の成りたる時に精算勘定を爲すべき意味にて稅金を支拂ふものなりと云ふ

韓國漁民の奬勵

韓國漁民の使用する漁具、漁船及び其他の水産器具は幼稚にして改良を要するもの多々あるが農商工部に於ては本季に於て韓漁民の使用する漁具、漁船の改良の實行を期したるも農商工部に於て直接に其任に當ることは現在の狀勢を以てしては不便なるを以て朝鮮海水産組合をして之を擔任せしむることゝなり産業補助費の中より五千圓を水産組合に補助し先づ韓漁民に適當なりと認むる沖手繰網、小臺網、鰛粕器械、鮫魚網、鯛延網、鯖延網、日本形漁船、鮪延網、潛水器、底刺網、刺擽網、細目鮫鰈網其他の附屬品等を購入せしめて之を韓漁民に無代價にて頒布又は或る期間貸與せしめ組合の技術者をして實地に就て指導をなさしむると共に其方法は豫め本部の承認を受けしめ且つ必要の事項は隨時農商工部より指定して施行せしめ漸次に其改良の實を擧げることになりたり

課稅抗議の眞相

琿春及龍井村に於て清國稅關の設立せられたるに就ては屢々報導したる所なるが今確かなる筋より聞く所に據れば韓國より間島に輸入する貨物に對する稅率に就き目下日清兩國政府間に於て協議中なる趣なれば其の決定に至るまでは抗議(アンダーヌロテスト即ち條件附納稅の意)の下に納稅すべしと云ふに在り故に外務當局者より抗議を申込み抗議中依然清國の課稅を受くるものなりと報導せるは稍々事實に符合せざる所なりと云ふ

行政統一の順序

地方行政の統一問題に就ては其筋にて豫てより準備するところあり過日は內部に於て諸間會議を開き着々進行中なるが之れが施行の順序としては第一着に外國關係の多き土地より開始すべき筈にて咸鏡北道の如き露清兩國の地に接する場所又は京城の如き外國人關係の多き處より之れを實行する筈なりと

●**韓國政府と諸會社** 韓國農商工部が諸會社設立請願に對する處分件數を聞くに左の如し

年度	認許	不認許
光武十一年	二	三三
隆熙元年		五
同　二年	八	四九
同　三年	一	一一
計	一一	九八

而して認許後解散又は取消を命じたるもの三社あれば現在に於て公然成立し居るものは八件なりとす會社の種類別は磁器、製造業、運輸業炭賣買、書店貸與業、勸工場等なりと云ふ

●**謝罪使と地方民心** 藤公の兇變に關し韓國上下は須らく謝罪の意を表すべしとて大邱の人尹大變等數十名協議の末宋鎬昇、鄭寅昌の兩名を選出せしめ昨日同謝罪使の歸京したる旨既報の如くなるが各道代表の委員中平安南道を代表したる李斗元と稱するがあり過般要務を帶びて鎭南浦へ赴きたるに同地韓民は非常に激昂し汝に對し曾つて日本に謝罪使を派遣せよと依頼したる事なしと難詰しあはや一場の活劇を演出せんとしたるも鎭南浦警察署長の訓戒にて無事なるを得たり

●**龍山經濟協會目的** 龍山經濟協會は既報の如く去月十七日龍山民團役所にて居留民會閉會後發起人會を開き發會の準備を爲す筈なりしが發起人は大久保民長民團議員中の數氏其他兩地の有力者等十數氏にして當警察署長たる上村法學士も同會の設立に賛成し盡力しつゝありと左に會則第二條を摘記す

第二條　本會は龍山の繁榮を企圖し商工業の發達に必要なる方案を調査研究するを以て目的とす

●**水産組合の新事業** 朝鮮海水産組合に於ては本年の新事業として度支部の監理の下にある漁港設備中の製氷所及び冷藏庫の事業と經營する筈の由なるが製氷所及び冷藏庫は來二月中に竣工する豫定なれば其竣成後二ヶ年間水産組合にて引受漁業者及び販賣業者の魚類の貯藏及び輸送等を爲す爲めに便宜を與へしめ販路の擴張を補助する方針にて度支部との間に既に內約濟みたるを以て今回の代議員會に右事業案を提出する筈なりと云ふ

●**一大遊園地の計畫** 京龍合して五萬以上の居留民を有するに拘らず恰當の遊園地を缺ぎ僅かに南山の風致によりて行樂の慾望を充たさるゝが如きは頗る遺憾とする處なりとて當地有力者間に京城民團龍山新市街の中間に一大遊園地を設定せんとの發起り陸軍諸官衙を始め日韓瓦斯會社の如きも大に之を贊成し相當便宜を供給する由なれば不日實現せらるべしと云ふ

●**鳥致院の新年宴會** 去る十三日午後五時より鳥致院俱樂部に於て同地總代西頭謙吉氏主催にて新年宴會を催せり會する者四十名先づ西頭總代の挨拶あり續いて聖上陛下の萬歲を三唱しそれより宴に移り種々なる餘興の催等あり頗る盛會を極め同十一時頃無事散會したり(鳥致院通信)

●**水産組合總會開會** 朝鮮海水産組合團員總會を來る二十日より五日間釜山に於て開催するに就き統監府及農商工部を代表し庵原漁政課長は統監府田邊屬、水産局高橋主事を隨へ來る十九日出發臨席せらるゝ由

●**穀物協會役員當選** 仁川穀物協會にては一昨十四日總會を開き役員の選擧を行ひたる結果評議員としては松本要五郎氏監査役として藤本藤一郎氏當選したりと云ふ

●**商船の仁川出發日** 大阪商船會社鎭南浦航路の仁川出發期は群山、木浦行一月二十一日午後五時木浦丸同二十四日午後五時安東丸、同二十五日隅田川丸にて正午發なりと

●**普通學校の職員會** 來る二十二日午後一時學部に於て市內官立普通學校の職員會を開催する由

●**檢査局の官制改正** 隆熙元年勅令第六十八號會計檢査局官制中第二條及び第七條改正されたり

●**警察に關する法規** 內部警務局にては韓國警察に關する法規令達目錄を印刷に附し各道へ頒布すと

●**民團役所帳簿調査** 公金費消事件の爲め調査中なる民團役所の帳簿は大体の調を了りしを以て十四日より原簿の對照に着手したり

●**庵原技師の視察** 漁政課長庵原技師は釜山に於ける朝鮮海水産組合團員總會終了後蔚山、馬山、木浦、群山、仁川地方に立寄り理事廳に於ける水産事務を監視し尚は同地方の水産組合支部に於ける事務を監督する豫定にして歸廳は多分來月八日頃なるべしと云ふ

●**統監府の娛樂會** 統監府樓上に於て十四日午後六時より屬員以上の家族一同二百余名を會し娛樂會を開き琵琶、俄淨瑠璃、手品、活動寫眞、浪花節等の余興あり十時頃散會せしが十五日は屬以下傭人の家族一同二百余名來會あり

●**同志會員の招待** 時局問題研究會常議員は昨十五日午後六時より朝鮮問題同志會特派員五百木良三、大谷誠夫の兩氏を花月樓に招待晩餐會を開けり

●**中村局長の出廳** 母堂の喪に服し引籠り中なりし中村農務局長は本日より出廳各課に挨拶廻りをせられたり

●**桝內少將等歸朝** 過般來馬山に滯在せし桝內海軍少將一行八名十四日午後三時四十分同地出發歸朝したりと

●**安達大佐出發期** 旭川聯隊へ轉任の安達大佐は來る二十二日午前九時四分龍山發列車にて出發することに決定

●**境警視の旅順着** 安重根事件の爲め出張したる同警視は十四日旅順到着

●**長尾檢事の入京** 公州地方裁判所檢事長尾戒二、長尾部の兩氏は去る十四日入京し旭町不知火旅館に投宿せり

●**小杉事務官歸期** 學部小杉事務官は十五日東京出發歸京の途に就けりと

韓銀當期の欠損

韓國銀行當期缺損金は十万圓なりとの事なり同行は追て他より低利の借入金を爲す迄は資金の都合上公衆に向つて一切貸出著しくは手形の割引等を爲さゞる方針なりと云ふ

日韓瓦斯の現狀

(岡崎專務取締の談)

客臘上京し去る八日歸社したる日韓瓦斯電氣株式會社專務取締役岡崎遵光氏が同社の現況に關し記者に語る處によれば▲電車擴張計畫　現在の電車は單線にして運轉車輛の如きは僅かに二十四五輛に過ぎず隨て來往待合の爲め少からぬ停留時間を要し市內交通機關たるの實を完ふし難き憾みあり故に買收當時より既に複線とす可き計畫を立て綿密なる調査を遂げたる結果黃金町の新線を合せ延長五哩を計畫し更に之に伴ふ發電力の增大をも計りたり▲社債と拂込　而して調査の結果之に要する擴張資金約六十萬圓調達の爲め過日上京したるが內地に於ける金融界の趨勢は孰れの方面に求むるも易々として直ちに成立し得るの好況に在り然れども全部之を社債とせんか或は又半額を株金拂込に待ち半額を社債とせんかに就き利害攻究中なれば決定の上は重役會議に諮るべし▲着手豫定期　は寒風酷烈なる季節を待ち之を開始せん豫定なれば先づ三四月の候なるべし然れば前項資金の調達も大に之を急ぐの要あるを以て遠からず決定を爲さん筈なり▲今期營業成績　創立日尚は淺く瓦斯事業の如き漸く客臘末開始せる程なれば未だ利益を見るの機に達せざるも一方電氣事業頗る好況にして彼是相償ひ得つゝあるは寧ろ豫想の外に屬す左れば前者に在ては毎月損失を持續し居るも後者に於て相當の利益を擧け今期の營業成績は約五步の利益を配當し得べし尤も本月末日が同社の決算期なれば其結果利益配當を爲すや否やは未定なるも今期は是非配當せんとの私見を持し居れり▲瓦斯と電氣　瓦斯に對する申込戸數は現在千二百戸に達し此內供給未濟數五百戸ありて即ち現供給戸數は七百戸なりとす其燈數は二千二百燈及外に熱用若干あり之が瓦斯供給量は約五萬立方呎なるが一方電氣の成績を見るに始め瓦斯開始の上は電氣に一大影響あるべく期待せるに實は之に反し瓦斯と共に人氣頗る好く九月より十二月迄三箇月間に於て三千燈以上の新申込者ありて殆んど發電力の滿限に達せり然れば電氣買收は瓦斯會社の爲めに非常の好運たるの事實を現出せり▲瓦斯副産物　元來瓦斯事業に伴ふ副産物は其種類甚だ豐富にしてベンゾール、ナフザ、クレオソート、ピッチ、二號輕油、アンモニヤ、コールタール、ナフタリン、炭酸等數多あり而して副産物の製出は同社經營上看過すべからざる事に屬するを以て追々機を見て開始せん見込みなり唯だ今日迄產出したるものはコールタール十石程にして之を試賣せるが成績頗る佳良なりと云々

▲治外法權▼

在韓日本人官吏淘汰說の噂々と傳はるに因つて上は參與官より下は農務先生に到る迄今や皆浮腰になつて居る、すまじきものは宮仕へ嗚呼行李でも括つて置こうか▲東京は遠か閑人が多いと見ゆて今度の滿鐵中立問題に關し或人々は對米同志會を組織するソーだ、第一が對韓、第二が對米、扨其次が對淸、對獨、對英、對露、對佛、アー此樣に敵が多ふては堪らぬ、一層の事に對列國同志會を組織してはドウダイ▲大島關東都督の辭任は氣の毒だ、併し都督府に外交權一手專擅なせらは飛んでもない事だ、一體始めから都督府なんぞを置かなかつたら滿鐵中立問題なども起らなかつたろーに▲古狐大連市に現はれ巨豚の首を喰切つて持去つたとは物騷な話だ、之れに就ても猛獸が滿韓を分割するの前兆だとはあまりにヒドイ事だ▲滿洲の新聞記者露人某は數日前刺客安重根を大連の獄舍に訪ねた、其露人の語るところによれば安は獄舍生活に何不自由を感せず、拷問も責苦も受けず、血色極めて良好なりとの事だ、重き罪囚と雖も疎略にせぬと露人は感心したソーである▲近來とんと美人繪ハガキの賣行が減じたソーだ、是は寧ろ喜ぶべき現象で自然主義者が同じ裸體美を愛すにしても美人よりは力士の方へ向く傾になるであろう▲此頃滿韓交換論を實行したものがあるとの事だ、所謂れを聞けば滿妻と韓妻とを取更へたのだッーだ、時節柄一寸閑話にならぬ。



拳骨（七）

桃睡

「何と仰有つても可いぢやないか」と桑山君は例の珍的な鼻を撫んでノンこの御です、お六夫人は床から匍ひ出で桑山君の前に陣取つておつと良人の顔を凝視て居たが矢庭に其の胸倉を捉つて、

「口惜しいッ」と泣き出したです、飾り失策だから僕も些と面喰つて手が出ません、

「何だ、何の態だ」と桑山君は慌手ゐま、平氣です、對手が平氣丈に夫人は有腹を立てると云ふ始末でせう。

「何の態には誰がするんです、妾も好きで遊蕩事をするんぢやありません、せねばならぬ様に良人が仕掛けるんぢやありませんか」

「誰が仕掛けたさ、酒食ひの夫を持てば其の位の事は觀念して居らんか、吾輩君の細君を見い楽いもんだ」

「妾は人様のやうに仕過りません」

「まあ放せ」と顧でしやくる。

「否ね、今日は妾し腹一ぱい云ふ丈の事を云ひます」

「勝手に云ふさ」

「云ひます共、良人も少しは考へてご覧なさい、まだ東京の學校に在出の時からの事を、それほど妾に苦勞をかけて在出でゝすか、妾は在正月の着替さへも碌くした事がありますよ」と愈々喬黙迄が引出されさうです、もう桑山も默つて居れません。

「馬鹿ッ、何を云ふか」と懐中から手を出して突き飛しましたね。

「馬鹿でもよふざんすよ、那麼馬鹿を何故妻になさいます」と又摑みかゝる

「穢たんぢやない、なつたんぢやないか」と又突き飛す。

「な、何ですつて」と又しやぶり附いた夫人は何處にか嚙りついたのでせう

「痛いッ」と起上つた桑山も遂々興奮に據つたと見えて夫人の腰を蹴ると云ふ乱暴をしました、

「まあ酷い事ね」と聞いてゐる細君も目を丸くする。

「それを君はじつと見て居たのか」と香海君も口を出す。

「うむ、夫れ迄は大した事でもなかつたから傍觀してゐたが、兇うなつちや見て居る譯にも可かんさ」

「まア、苦衿て」と桑山の方は止めて見たが夫人は中々怒うして承知せん、

「さ、れ蹴りなさい、れ擲なさい」と楽身になつて体を投げ出すと云ふ始末だから愈々喧嘩には花が咲く、僕のやうな小さい体ではどても手が出せなくなつた、了ひには桑山も持て餘して逃け足を踏み出したもんだが夫人は最う氣狂ひ者だね、始末に了へぬさ、到底出て往くと云ふ勢ひだ。

「勝手に往け」と桑山も意地を張る、

「往くとも」と實言葉に買言葉、僕かに騒動です、僕も全力を注いで制止して見たが何の効もない、車を呼んで其儘飛び出して仕つたから見て居る譯にも往かず跡追駈けて其の往先丈は突き止めて兎も角香海君に相談仕様と思つて伺つたのです、處が自ら第一となつて調停せなきやならん香海君は平氣な面で済してゐるんでせう、

「決して済しちや居らんがね」流石に香海君を捻る。

行金費消の續聞

▲前橋と斷落せし形跡

仁川百三十銀行の行員戸尾房太郎が行金二萬圓余を費消なして逃走なしたる由は昨紙上にて報道なし置し處なるが尚其の詳細を聞くに同人は仁川各所の料店と飲のあるに任して浮れあきし中にも殊に濱町一山支店には殆んど入り浸りの姿にて同樓の仲居西本ならぎくと南北米を股に懸け古狐とは親密なる關係を結び現に戸尾が逃亡なしたる前日即ち十日の日にならぎくは一山支店より暇を取りて日本に歸りたりとの事なれば或は戸尾も同道には非ずやとて目下同方面に向つて嚴探中との事なり尚同人には小切手僞造私印盗用等の犯罪もありとなり

●龍山座の活劇 龍山榮町龍山座々附用人に愛媛縣温泉郡生れの岡田百太郎(二三)と云ふ者あり生來の負け嫌ひは芝居小屋の木戸口に客呼ぶ際も忘れずと云ふ困り者なるが一昨十四日午後九時頃の事相變らず同座の木戸番を爲しゐたりしが同じ木戸番に東京神田生れの松野清太郎と云ふ者あり此の者と何か木戸錢受取の事より口論を始め例の負け嫌ひの百太郎は口の喧嘩は面倒とや思ひけん突如り懐中より大ナフイを取出して清次郎が脊部を見蒐けて刺し貫き尚も二の大刀を見舞はんとせし處へ座方の面々馳け來り漸く兩人を引き分けしとの事なるが清次郎の傷は全癒二週間を要する由にて加害者百太郎は現場より直ちに引致留置中との事

●新年歌留多會 當地歌留多嗜好家の倶樂部たる壽町それから會の發起にて來る一月三十日の祭日を期し同日午前九時より大和町三丁目梅の家に於て新年歌留多大會を開催する由にて歌留多會の各團体にては双てを月桂冠を戴かんと頭日何れも練習に怠りなしと云へば當日は花々しき競技を見ることなるべし因に出席者は男女を不問會費五十錢を持參すれば戰ひに參加することを得べく其申込所は本町日韓書房、文林堂、有樂軒等なり又當日は出席者の多少に拘はらず規定の時間を勵行するとの事なり

●矢能仁丹處罰 昨春賣藥仁丹を模造して印紙を貼用し圖々しくも之を菓子と名乘りて公然發賣なしたる大阪市北濱四丁目矢能德正は其當時大阪府知事より賣藥規則違犯として告發せられ續いて商標權侵害事件となり拘留せられ居たるが客臘廿五日大阪地方裁判所に於て愈々有罪の判決即ち被告矢能德正及び同政義義輝を各罰金百五十圓(完納せざれば百日間の留置)に處する旨言渡されたり因に右矢能に對して税務監督局の告發に係る賣藥税法違犯の罰金額は合計五千百二十六圓餘の多額に上れりとなり

●勸商場の割引 明治町一丁目の京城勸商場にては新築落成の爲め一二三の向ふ三箇月間棚料の三割引をなす由にて點燈は瓦斯五十燭光一圓に付一箇取付此の費用及料金は場主の負擔とし申込期限は本月十六日迄と其後の申込に對しては割引無と右割引賃金は

特等	一ヶ月	十圓五十錢
一等	同	九圓四十五錢
二等	同	八圓四十錢
三等	同	七圓三十五錢

にして開場は本月二十一日と決定し既に半數は契約濟となり居る由なれば希望の方は此際現場一覽の上至急申込まるべしとなり

●龍山商人同志會 龍山に商人同志會と呼ふ團体あり兩三年前の創立に係る者なるが目下の處龍山の重なる商人は殆んど之に加盟し其の結合は極めて鞏固にして信用調査等の事項をも取扱ふ等相互の利便を圖り居れるが一昨十四日同會は新年宴會を兼ねて總會を玉の江にて開き役員の改選を行ひたるが其の結果會長には奥田貞吉氏副會長には渡邊與三郎氏當選其他評議員五名の選出をなして散會したる由なるがかゝる團體は物價の均一を計る上等より見ても甚だ有益なる者ならん

●狂犬人を咬む 北部順化坊帶洞六、九統九戸李漢秀の飼養せる牡犬は十三日朝紫橋大路東便六十三統八戸金俊植方安敬瑞（五）男安千鍾（五）に咬み附き尚九名の負傷を負せたるより嚴重捜索中巡回中なりし北部署巡査金成用の左腕に咬附きたるより同巡査は直ちに拔劍して頭を斬落したるが解剖の結果胃腸には塵埃瓦礫等のみ殘留し居たる由恐水病發生の虞あれば死屍は内部衛生局にて動物試驗を行ふ由

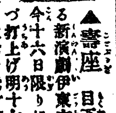
●羅州の痘瘡 羅州署管内南平郡南平邑内に此程痘瘡患者六名を出し何れも死亡したるが防疫設備不完全なると韓人の衛生思想に乏しきとにて漸次蔓延の兆あり當局者は嚴重消毒豫防に努めつゝありと

●本日の説教 ▲メソヂスト教會 例の如く本日曜日の日本メソヂスト教會は午前十時より聖書研究日曜學校、同十一時よりは木原牧師の禮拜説教あり午後七時には同牧師の傳道説教ある筈なり▲京城基督教會 日ノ出町同教會にては本日午前九時半日曜學校同十時半禮拜説教午後七時より傳道説教あり演題は米澤牧師の「選民の自覺及吾人の戰ひ」等なり▲日本基督教會 旭町四丁目の同教會にては午前九時半より日曜學校同十時半より石原牧師の禮拜説教獻身、午後七時より同牧師の傳道説教品格の養成あり▲日韓禪寺の開教 花園町淨土宗の同寺にては來る十七日午後一時より釋尊成日忌、觀音詣及び説教等あり了つて一般に五味具の接待ある筈なり

●韓人の喧嘩 南部於義洞當時旭町一丁目の川入備八李龍夏(二三)と呼ぶ者は一昨日午後七時頃朋友四名と南大門通りを通行中南部五壯住の金致明(二〇)なる者と衝突して口論を起し結局金の眼瞼を毆打して出血せしめし爲め關係者一同引致さる

●醉漢の暴言 一昨十四日午後七時頃泥醉なしたる一韓人渼洞通路にて聲高く通行の人を罵るにぞ同渼派出所の巡査之に説諭を加へしも聞かず仮て一應引致の上覺醒を待つて放還されたるが此奴は南部黎谷洞住の朴須奎と云ぶ者

●一昨日の新町 一昨日新町の水揚高は遊客七十九名にて其の遊興費四百十四圓六十七錢なりしと



▲壽座 目下開演中なる新演劇伊東文夫一派は今十六日限りにて一ト先づ打上げ明十七日よりは名古屋若手俳優嵐璃十郎歌舞伎大一座にて花々しく開演すゝの事なるが初日れ見ね狂言は前「式三番引拔踊圖」中「一の谷嫩軍記」切「神靈矢口渡れ舟人形ぶり」にて大車輪にて見せる由猶ほ例の奇策家伊東文夫は興行主任櫻井丈太郎氏と協議し其興行に就て何事か工夫中との事なれば定めて面白き活動を見るならん

▲歌舞伎座 中村福圓は愈々今十六日夜乘込式をなし明十七日初日開演に決し明日華やかなる町廻りを爲すと

▲浪花館 元旦以來開演中の浪花節吉川今勝、岡勝時合併大一座は昨日より木戸場代共合せて二十錢均一となし一同大車輪にて演ずる由讀物左如し 觀音丹次（勝廷）北條三郎（岡昇）古澤敬治（清）小天狗新造（若之助）宮島御利生記（大八）辨慶新五郎（恭秦）稻垣竹若丸（今勝）義士銘々傳（勝時）

▲平民文庫▼

▲小生儀母の訃に接して十二日朝南大門出發歸郷の途に就き候龍山の驛にて之れも歸郷する一人の女學生が見送れる幾多の教員生徒と悲しき袂別の後にて獨り人目を耻ぢず泣伏せるを見て吾も巳が身の上を省みて共に袖を濡し申候 釜山埠頭に於て（は＞字）▲僕を愛して呉れた番頭のはの字君は昨日部合にて内地へ歸つて終つたヨウ小僧君人の來るのは好い者ですがね行くのは實に心淋しい者ですね余り心淋しさに僕も母の元へ歸りたい様な氣がしてならぬが考へて見れば十八にもなつて夫れも成らず推量して呉れ小僧さん、小僧さんと聞けば僕の樣な小供と思つて居るが君は大八でしよう貴君が大人なれば猶心淋しいはの字君も宜敷申して呉れと云つて去んだよ（辰藏）▲御推察申します併し其樣に心細がるものではありません僕は子供でも大人でもない中僧です此れからはの字同樣御懇意に願ひます（小僧）▲古市町根岸さんの南陽○○さんの噂は評判に進はず余り得手勝手過ぎる少しく反省して呉れ（被害者）▲記者足下よ「當地中券番の藝妓にも上中下の階級でも付けたら如何に候や赤門の有明樓に混編の衣物にメリンスの襦袢で三味がチンとも引けぬ者が出る計りで一時間七十錢とは驚いた是等の連中は二十錢でも安くない藝名に勇助とか勇蝶とかで有つた或は枕が專賣かも知らなんだ鬼に角座敷では不愉快で不利益だ是非に階級が必要だ」新年早々御注進（無名氏）▲有明樓の藝妓に其の樣なのがあるとは信じられぬが鬼に角藝妓に等級を付けると云ふことは近頃思ひ付きである贊成する（小僧）▲去る十二日午後八時半頃僕が憲兵隊本部に新聞を配達せんとし正門を這入ると突然衛兵所より灰色の大犬が飛び蒐つたのに衛兵所内に二人の憲兵上等兵は頻に此れを眺めて面白がり「イチ確固やれ」と盛んにへシかけた實に不都合千萬であると思ふ（平民將軍）▲龍山電話交換局の交換手は實に手數をかけるので從來既に閉口致して居たが殊に此頃では新參交換手の見習とやらせて居るらしいが急用などは到底間に合はぬアンナのは夜分暇な時にして欲しいモ一つ注意して欲しいのは例の七、八時の間夜の七、八時の間だ僕は毎度電話口で地團太踏まされる（龍山の人）▲狂亂菊牡丹は成丈け精探の上委しく書いて頂きたいものです彼も近く伯爵の養子になるかも知れませんから参考の爲め承知して置く必要があります（小熊生）

●亂狂菊牡丹

本日休載



吉凶欄

本町五丁目 三一館製

一月十六日月齢十二回の五、六白佛滅辛己定△一白 業務若くは官職上快事あり人より懇願無心にあふあらん△二黒 靜穏の日常事業務は支障無し旅行命名披露入學門凶△三碧 不快の日とす新事見合の事計算精算決算に紛擾あらん△四緑 陰鬱不快の日謹愼を要す盗害横領を防ぎ負傷避くべし△五黃 疎漏過失あらん酒色賭事を堅く禁ず△六白 受任受托を負擔する勿れ人より嫉視疑夬にあふあり△七赤 中傷誣妄あらん爭論紛擾を戒しむ△八白 憤怒を猛發し易し取引金品授受用意周匝たるべし△九紫 近親若くは知友のため世話事又は係累あり

一月十七日月齢十二回の六壬午七赤大安執△一白 入學門開店業婚姻良好の日なり仕官就職相談依賴等効果宜し△二黒 家族又は從者のため些少の世話や係累あり其他平凡△三碧 交際取引上に爭論間違起り易し慨して不事の日建築伐林には吉△四緑 盗難遺失防ぐべし保證受印を禁ず△五黃 慨して平静の日なるも自負虛飾を戒しむ△六白 散財ある日なるも實買取引貸借事注意すべし間違多しとす△七赤 不通の日新事見合すべし相談依賴等効なし△八白 主上若くは尊族親のため出損若くは係累あり△九紫 沈衰の日新事及變更凶旅行轉任不可

美術半襟帯締其他紙類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

物件部

●迷犬 去年奉生の白に茶褐色の斑點ある牡犬一匹迷來れり心當りの方は太平町古川床へ

●貸家 西大門内佛國領事館隣六疊八疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 同所清水方へ

●電話讓渡又は貸付 九何〇番直接面談に限る 本町四 賛化堂藥店

●電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 福井

●老舗讓渡 本町一丁目目抜の場所多年賣込し雜貨店主人實家相續の爲め歸國に就き居抜の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

神經をおこす● 脳病を全治す●

島村醫學博士の有効證明を得たる健脳丸は、神經病に奇効を奏し、逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき脳充血を全治す

脳病全治剤



記臆力悪き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に脳神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也

定價 一日分十銭、三日分廿銭、七日分四十五銭、二週分八十五銭、五週分金三圓

本舗 大阪心齋橋二丁目丹平商會藥房 分店 大阪平野町堺筋北丹平商會分店 支店 東京日本橋區馬喰町丹平商會支店 ◆尚は全國有名藥店に取次す◆

熱心卑志多年專斯道於溜飲藥奥旨恍然似有得者[illegible]

京城本町五丁目 易斷觀相教授 三一館 館主 土御門派大陰陽師

滋養と牛乳 純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番 衛生と消毒

馬車配達

御待合 新築開業 京城永樂町三丁目永樂館前 松月 電話一五四五番

◎新漬大根大賣出 ◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬

官衙賣品元賣捌。農器具一式。肥料。種苗。薪炭。日用雜貨。家具。工業農業消耗用藥品一式

諸官衙御用達 京城本町一丁目(長谷川町筋) 三輪商會 電話三八六番

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

◎全一冊◎紙數凡六百頁◎菊判半截形◎定價金六十錢

右般賣捌以來未だ何日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、服務規律、懲戒、恩給、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月十日を期し前回に洩れたる法規を附して見出に易からしめ、除白を存して新法規を記入するの便を謀りたる等設備の完全を期し聊か要領に副ゆるの趣意に有之候に付ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り紀本に着手可致候間此際御入用の御方に限り前回發表の通り特別減價を以て御高需に應じ可申候

明治四十二年十二月一日 京城 日韓印刷株式會社出版部

●唐津石炭直輸入商 並ニ平壌無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店 電話八百三十五番

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり 一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町二丁目郵便局前 貸席 鐵冷温泉 電話千四百十一番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館 (電話一一一五番)

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店 米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店 獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計御小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

上等石炭各種 並に無煙炭販賣 京城本町二丁目 林田交換所 電話六十五番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ(紹介ヲ要セス) 京城旭町一丁目六十七番戸 辯護士 岡田榮 (電話三九八番)

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保に日歩に

右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記御便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速罷出可申候

質業

京城竹園町二丁目 樋下田本店 (電話九三二番)

京城相生町(南大門魚市場裏) 樋下田支店 (電話一四三九番)

龍山清水町六十三番戸 樋下田支店 (電話四〇四番)

特約販賣 自製 漬物 味噌 醬油 製造元 京城本町五丁目

大上商店 (電話二五一番)

和洋酒、罐詰、穀物、麺類、銘茶、罐詰、乾物、候物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒物特約販賣 尙御望に依り商品切手調進仕候

改修落成と電話開通

久しく改修中の處彌々落成仕候間不相變御贔屓の程願ます

京城旭町二丁目(名古屋城横へ入る) 待合 醉月 電話二六五番

荒物世帯道具一切 大坂合製 白絞油 和洋蠟燭 和傘 岐阜提灯 魚釣道具 卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替小包郵便を以て御送付申上候 御入用の御方は御通知あり次第商品目録御送呈申上候

荒物世帯道具 各國諸油米穀 銘酒浮亀 アサヒ サッポロ 麥酒 並に買次業

京城本町六丁目 合西崎嘉七本店 電話長二一〇 電話(二カ又ハ二) 振替貯金口座東京(九四一七番)

資本金一千萬圓 積立金五百十萬圓 株式會社第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町 支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

歐米新式高等裁縫 龍山元町四丁目二十八番戸 丸濱洋服店

弊店は廉價と叮嚀を旨とし精々勉强仕候

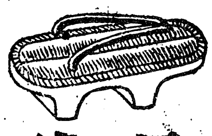
誠實勉強 開店廣告 御料理 洋食 すき燒 辨當出前仕候 京城鐘路裁判所向裏 鐘路軒

神戸賓生分院 京城梅毒病院 京城相生町(南門湯横)

◎花柳病專門並、痔(注射療法) ●入院隨意● (電話一二九四) 院長 醫學得業士 廣田脩平

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 京城明治町二丁目(佛國教會前) 電話三五四番

東京足袋



本店東京 京城大和町一丁目(日の出橋際) 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

蒸氣消毒牛乳 京城大和町一丁目 平山牧場 電話一三二

御待合 紅葉 京城南大門通三丁目光宣門側 電話一三八二番

位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候 資本金 參百萬圓 積立及繰越金 九拾萬圓

株式會社十八銀行京城支店 京城南大門通 (電話四二〇)

本店 長崎市築町 支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州 出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢四厘) 長崎貯蓄銀行代理店(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行京城支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、兵庫、堺、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、山、八木、高田、田原本、郡山

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、住吉、茨木、下市、名古屋、宇田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟

山陰道 米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、五島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、徳山、小郡、長府、網干

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱

西海道 鹿方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壌、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尚州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社廣告 仁川出帆

仁川海岸通 電話三九番 貨物及船客取扱店 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 一月十五日後三時出

●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出

●大連行 酒田丸 二月三日正午時出

●釜山出帆 元山、浦潮行 立神丸 一月廿六日午後四時出

御注意 御乗船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ三十分前ニ解纜ノ事